



中鉢ホームレポート 2014夏号



中鉢ホームの増改築・リフォームを担当しております、藤田と申します。
今後、定期的にお客様の住まいに関する有益な情報等をお伝えしていきたいと思っております!!

家にも熱中症にかかります！

住宅内での発症が4割以上、冷夏でも急激な温度差があれば危険

かつては炎天下で屋外作業を行って倒れる例が多いように認識されていましたが、実際は屋内で発症するケースが多いことも判明、冷夏であっても起こりうる事が分かって来ています。2010年の調査結果からみると、住宅内での発症が全体の4割以上を占めており、そのうち、65歳以上が7割、昼間リビングで倒れる例に加え、夜間寝室で発症する例も多く見られます。

予防するには？

明確な基準はないが、室温28度、湿度70%が防止のための目安

熱中症を発症するかどうかは、温度、湿度、風の有無などの環境に加え、個人の体調や疾患の有無などに左右されるため、基準を決めにくいそうですが、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律が定める室温28度、湿度70%」をひとつの目安と考え、それ以下に室内を保つようにしたいところです。

エアコンはゆるくでも一晩中つけておかないと意味がない

熱を溜め込んでしまいがちな住宅の中で、それでも快適に過ごすための最大の手段はエアコンの利用。窓を開けて外気を取り入れる手もありますが、昼間は暑いし、夜間は防犯の問題があり、開けっ放しというわけにはいきません。そこで考えられる最大の手はエアコンの利用。高齢者、女性は冷えるからとエアコンをつけて寝ることを嫌いますが、熱中症で倒れることを考えたら使って欲しい。それも寝る前の2時間程度ではダメ。エアコンは空気を冷やすだけで、壁、床は冷やせないのので、エアコンを止めたらまた室温は上昇します。それを防ぐためには温度自体は28度、29度くらいにしても寝ている間中、使ってください。同時に除湿もすれば蒸し暑さをしのげます。



「スタイルシート」

日差し対策として注目されています！！
太陽熱83%カット、冷房費19%節電。

工事費込価格 ¥59,800(税込)

幅1800mm 長さ2800mm

平成25年度に担当しました主なリフォーム工事

マンションフルリフォーム A様



事務所内装工事 B様



ブロック、フェンス工事 Y様



キッチンリフォーム K様



駐車場舗装工事 T様



外壁塗装工事 I様



自宅が
完成しました!!



もちろん、
中鉢ホーム施工です！

平成26年6月完成



ふじた たつや
藤田 達也
東京都板橋区出身
明治大学 商学部
バレーボール部
趣味: ゴルフ・音楽



中鉢建設グループ
株式会社中鉢ホーム
〒241-0001 横浜市旭区上白根町744-4
電話: 045-954-3497 FAX: 045-954-3613
E-mail: t.fujita@chubachi.co.jp
携帯: 090-9146-8274
担当: 藤田 達也

フリーダイヤル 0120-771-386

